

仙台市議会 (市政活動報告) 会派「市民フォーラム仙台」

発行／会派「市民フォーラム仙台」 加藤けんいち



元気
アップ!
仙台!!

【連絡先】
〒980-8671
仙台市青葉区国分町3-7-1
仙台市議会
「市民フォーラム仙台」
TEL 022-214-8719

【事務所】
〒981-0952
仙台市青葉区中山4-6-34
会派「市民フォーラム仙台」
加藤けんいち事務所
TEL/FAX 022-279-5255

仙台市議会議員 (青葉区)

加藤けんいち

令和5年1月号 <http://www.katoken-sendai.com>

暮らしに夢を！子どもたちに未来を！

令和5年が始まりました。新型コロナウイルス感染症の影響は留まることなく、重症化率の高い変異株や新たな感染症がいつ出てくるかわからない状況でもあります。仙台市においては、従来株とオミクロン株に対応した2価ワクチンの接種を進めており希望する方全員が着実かつ速やかに接種出来る体制を整えています。みなさまにおかれましては引き続き「うがい」「手洗い」「換気」等の基本的な感染対策の徹底をお願いいたします。

新型コロナ感染症が長期化する中で原油価格・物価高騰の影響への対応も待たなしです。仙台市では新型コロナ感染症ならびに原油価格・物価高騰に関する補正予算を計上し、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金として非課税世帯等に5万円を支給する経費約70億円、商店街等買い取り促進キャンペーンとして商店街等消費喚起促進事業費に計22億円など各種支援策について拡充を図っているところであります。一方で、今年は4月から開催される「全国都市緑化フェア」や5月に開催が決まった「G7仙台科学技術大臣会合」など明るい話題の多い年でもあります。認知度向上や開催機運の醸成に取組み、杜の都仙台が新たなステージへと押し上げられるよう取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、皆さまとお約束させて頂いた取組みである「子どもたちの健やかな成長を守るための子育て支援」「教育環境の整備と健全育成の充実」「地域コミュニティによるまちづくり」「高齢者とその家族が快適に生活できるよう介護サービスの充実」等々、安心して暮らせる都市(まち)づくりに向けて誠心誠意取り組んでまいります。



防災・減災推進調査特別委員会の委員長報告



本委員会は、東日本大震災の記憶を風化させない取組みの推進と多様な市民が主体となった地域防災力の向上および災害に強い防災環境都市の実現を目的として設置され「頻発する大雨による災害に対する防災・減災対策」をテーマに7回にわたり委員会を開催し審議いたしました。災害時に本市が発令する情報について、市民により伝わる実効性が高いものとする必要があり、避難情報の発令対象区域を可能な限り絞り込むことで発令された地域の住民が自分の身に危険が迫っているというより強い危機感を持つことができ、自分は災害に遭わないという思い込みを軽減することに繋がるような取組みが必要であること。また、ハード整備により町の安全度を高めることは市民の安心・安全を守るために非常に重要であり、これらの整備の必要性や費用対効果・整備状況についても市民に対し丁寧に説明し理解を得ることも必要であることについて提言しました。国内各地で記録的な大雨が頻発し、大規模な土砂災害や甚大な浸水被害に至る事態も発生していることから本市においてもこれまでにない災害が起きる可能性があることを踏まえ、当局には雨水幹線等の整備や地域の避難訓練などのさまざまな機会を通じた防災知識の普及啓発といった市民の安全・安心を守るハード整備およびソフト対策への一層の努力が必要であることを取りまとめました。

第3回定例会が開催されました

9月5日～10月6日までの32日間仙台市議会第3回定例会が開会されました。今回の定例会には、条例案13件・人事案3件・その他案6件・補正予算5件・決算認定7件・追加補正予算1件の件35件の審議が行われました。補正予算では、オミクロン株対応ワクチン接種経費約58億円・ハザードマップ作成経費3千万円など全体で104億9800万円について審議、追加の補正予算では電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金として非課税世帯等に5万円を支給する経費として約70億円・G7仙台科学技術大臣会合開設準備に要する経費8千万円について審議可決いたしました。

会派を代表し決算等審査特別委員会において総括質疑を行いました【抜粋】

仙台市奨学金返還支援事業について

問 現行の制度では大学生しか対象となっていない、経済的理由で進学を諦めざるを得ない高校生が本事業を活用し進学への後押しとなるよう事業対象者の更なる延長を図り恒久事業となるよう求める。

答 市長：本事業につきましては、制度の拡充を図りながらこれまで取り組んできたところでございます。より多くの学生に制度を活用いただくよう、今年度から3年間取り組むとともに、将来の事業の在り方については、本事業を利用して就職をした方々や協力企業・大学関係者等のご意見を伺いながら、企業の人材確保と若者の地元定着により充実したものになるよう、今後検討してまいりたいと存じます。



教員の多忙化解消について

問 月の超過勤務100H超え・または2～6か月で80Hを超えている教員は過重労働と過労死に関する厚生労働省判断基準として示されており業務と発症の関連性が強いとされている。決算年度は超過勤務100H超えの教員が2割を超えている、また、中学校では6ヶ月以上45H超過勤務の教員が6割を超えている状況を鑑み、教員の配置の在り方について検討する時期にきているのではないかと伺う。

答 市長：教育課題が多様化・複雑化する中、教員が心身ともに健康で子どもたちに生き生きとした教育活動を行っていくためには、教員の負担を軽減し充実感を持って働ける環境を作っていく必要があると認識しており、予算編成の過程等において、教育委員会から学校の人員体制等について話を聞きながら対応を図ってまいりました。今後とも、様々な機会を活用しながら学校の状況把握に努め支援の充実に力を尽くしてまいります。

部活動の地域移行について

問 民間のスポーツクラブなどが部活動を行う場合、部活を続けていくためには部活動に伴う部費よりも高額な会費を支払うなど保護者の費用負担が気になる。地域移行により負担が発生しないよう就学援助の対象とするなど配慮が必要と考えるがどうか。

答 健康教育課長：国の提言におきましては、経済的に困窮する家庭への支援として、自治体の取組に対する国の支援方策の検討の必要性が挙げられているところです。本市といたしましても、委員ご指摘のとおり、生徒が経済的な困窮を理由として部活動を断念することなく安心して活動ができるよう配慮する必要があると考えており、国の動向を注視しつつ関係部署とも連携しながら適切な負担軽減のあり方について、検討してまいりたいと存じます。

問 中学生の悩みに対する調査は数多くあるが、どの調査においても「部活動の人間関係」が上位を占めている。教員である先生が顧問であるからこそ対応できているが、地域移行となった際、部活動による子どもたちの人間関係を学校側とどのように連携されていくのか大きな課題である市長の所見を求める。

答 市長：部活動は、子どもたちが継続的にスポーツや文化活動に親しむ入り口となる機会であるほか、人間関係の構築や責任感及び連帯感の涵養など、その教育的意義も大きいものと認識しており、地域移行にあたっては、こうした視点も大切であると考えております。教員と外部の指導者の間で、指導方針について十分に意見交換を行う必要があるほか、プライバシーにも配慮した上で生徒の部活動時における様子について共有を行うなど、両者が緊密に連携を図りながら充実した部活動が行われるよう、教育委員会とともに私も考えてまいりたいと存じます。

ガス事業民営化について

問 民営化の旗印をおろしていないのなら次期公募に向けガス事業の企業価値を高める努力が必要であるが、決算年度の黒字の背景には「原料費調整制度」が大きく関わっている、同業他社の上限価格約10万円に対し本市の上限価格は13万円を超えており料金を価格に転嫁し市民に負担して頂いていることを忘れてはならない。どのような認識か伺う。

答 民営化推進室長：世界的にエネルギー価格が高騰しており需要家のみなさまにはご負担をおかけしているものと認識している。今のところ本市ガスの平均原料価格は上限に達していないが、上限価格を超えた他のエネルギー事業者は厳しい状況にあると伺っている。このまま原料価格の上昇が続き仮に上限価格を超える場合には本市事業収支への影響も懸念されることから危機感を持って動向を注視したい。

問 リスク管理について、土壌汚染やシステムの老朽化など関心を示している事業者にとって大きな課題の一つであるものの、昨年の民営化委員会では何一つ議論されていない、リスクも議論の遡上に上げて議論すべきである。

答 民営化担当局長：昨年度までの公募過程または結果検証のヒアリングにおいて事業者から様々なご意見を頂いている。現在ガス局においてそれらを含めた諸課題について整理するとともに、事業者との意見交換を継続しながら課題解消に向け鋭意検討を進めている。公募再開の際、協議や事業継承が円滑に進むようしっかり対応してまいりたい。

問 エネルギー事業者は現在のLNG価格高騰による経営への影響が大きいあまり民営化の話など出来る状況になく公募に応じる余裕もないと推察する。「今年度中の公募はない」などのメッセージを出すことで事業者は準備の時間が出来るのではないかと是非そういった表明をすべきと考えるが市長の所見を伺う。

答 市長：ウクライナ情勢や急激な円安進行などに伴い、原燃料確保や価格高騰への対応が求められるエネルギー事業者においては、ご指摘のとおり現時点で新たな投資判断を行うことは厳しいものと受け止めている。現在は具体的な公募スケジュールをお示し出来る状況にないが本市ガス事業への評価がより高まるよう努め、市民のみなさまに民営化のメリットを実感できるよう適切なタイミングでの公募再開に向け引き続き取り組んでまいりたい。

議会での提案が反映されました

伊達政宗公(胸像)が青葉山公園に移設されます



仙台市博物館の中庭にひっそり佇んでいる伊達政宗公「胸像」。この胸像は昭和10年に仙台城跡に設置されましたが昭和19年第二次世界大戦の金属回収策により撤去され、その後塩釜で胸像が発見されたのち青葉神社に奉納され現在は仙台市博物館の中庭に設置されています。参考として現在青葉城跡の騎馬像は昭和39年に石膏原型により騎馬像を制作し設置された2代目の騎馬像です。騎馬像製作者は彫刻家「小室達(とおる)」さん、白石高校(旧制白石中学)卒業生であることから伊達政宗公と白石と言えば重臣「片倉景鋼(かげつな)」通称;片倉小十郎であります。青葉山公園センター仙臺緑彩館は旧片倉家屋敷跡に建設されることから胸像の移設を求めた結果、現在整備が進められている青葉山公園整備に合わせて賑わいが期待される公園センターへ移設されることとなりました。

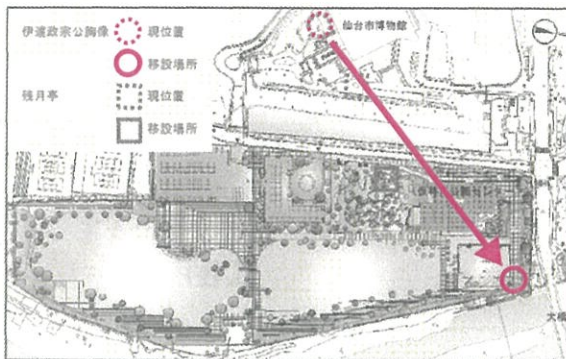


図 青葉山公園整備計画図

広瀬通の根上りが解消されます

ここ数年毎年予算委員会で取り上げている「街路樹の根上り」対策について、これまでの質疑が実り新年度は道路維持費とは別枠で約3億円の予算を確保する旨の答弁を頂きました。また、広瀬通の仙台駅前から晩翠通りにかけて対策が必要な根上り箇所について、当初35箇所でありましたが毎年改修を進めて頂き年度末には15箇所まで対策が進み、今年度中においてすべて改修されることとなりました。



三居沢交通公園の整備が図られました



三居沢交通公園は幼児から小学生まで自転車などを利用しながら交通ルールを守れる施設ですが、1966年の設置から55年が経過しその再整備が待たれておりました。民間活力の導入の可能性を含めて再整備について取り組んでいくことを求めておりましたが、痛みの激しい横断歩道や白線の修繕について早急の修繕を求めたことから整備をして頂きました。



初期費用ゼロ太陽光発電システム導入補助の制度が新設されました

ゼロカーボンシティの宣言をした本市として「杜の都環境プラン」に掲げる「脱炭素都市づくり」の実現に向けた取組みをより一層加速する必要があり、新規事業として「自家消費型太陽光発電システム普及促進事業」を提案しました。この事業は、家庭向けの設備導入の際に事業者へ補助する制度を創設し、市民が住宅への太陽光発電に初期費用をかけずに設置できる制度として太陽光発電の普及促進を図っていくことが可能となります。また、環境省では既に家庭向けの設備導入の際に事業者へ補助する制度が創設されているものの、その申請条件等は相当厳しく大手ハウスメーカー等しか利用できない実情と伺っていることから、本市においては地場工務店が活用しやすい制度となるよう提案した結果、新規に1000万円の予算が計上されました。



○相談ごと・ご意見などお寄せ願います。

お名前

ご住所

電話番号

基本政策を取りまとめ市長に提出しました

会派「市民フォーラム仙台」の基本政策を郡市長に提出しました。

基本政策として『6つの視点』として105項目に整理しました。①【子ども】子どもの命を守る教育と次世代支援として19項目②【経済】地域経済の活性化と雇用の確保として25項目③【福祉】市民福祉の充実として19項目④【安心】安全・安心なまちづくりと都市インフラの最適化として15項目⑤【環境】防災・減災および環境に配慮したまちづくりとして14項目⑥【市民】行財政改革と持続可能なまちづくりとして13項目。仙台市基本計画の推進にあたって基本政策を踏まえ対応してまいりたいと思います。また、基本政策の提出に合わせて長期化する新型コロナウイルス感染症への早急な対応と深刻な物価高への対策について緊急要請いたしました。



令和5年度予算に係る要望書を青葉区長に提出いたしました

令和5年度仙台市予算の青葉区関連について青葉区長に要望書を提出しました。

会派基本政策を郡市長に提出しこれらを踏まえ予算編成に当たり青葉区関連の要望を取りまとめたものです。地域コミュニティの充実に向けた「ふるさと支援担当職員の拡充」歩行者安全対策強化として「歩道根上り箇所の早期改修」障がい者の歩行安全対策として「点字ブロックの点検・修繕」通学路の安全対策として「横断歩道の白線引き直し」安心安全なまちづくりの観点から「雨水排水環境の改善と排水弁の定期的な清掃」「管理不全な特定空家に対する追跡調査および勧告」等々、区民一人ひとりが安全・安心で安定した生活が出来さらに活力あるまちづくりを実現するため要望いたしました。



仙台市議会議員 加藤けんいち

生年月日 昭和43年12月24日

住 所 仙台市青葉区木町通2-6-48-503

“カトケン”は

安心・安全・安定 な社会をつくれます。

「安心」して暮らせる都市づくり

「安全」でやすらぎある住みよい都市づくり

「安定」した市民生活を支える都市づくり

